

登録コード	SSF05500	開講年度	2026				
授業題目	地球システム解析演習Ⅰ				担当教員	村越 直美 他	
英文授業名	Seminar on geosysyem analysisⅠ				副担当	岩田 拓記・榊原 厚一・國頭 恭	
単位数	4	講義期間	通年	曜日・時限	不定期		
講義室					備考	研究室のセミナー：2年目に単位をつける。2年目に履修登録してください。	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 SSカリ・理学，2 5 SSカリ・理学，2 4 SSカリ・理学						
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち，その妥当性を理論的に説明し，議論する能力				⇔	・研究した内容を発表し，討論を重ねることで，課題解決のための方法論を学ぶ。 ・各課題についてまとめることで，論理的に思考する能力を習得する。 ・地球システム科学に関する研究の現状を俯瞰し，これまでの主要な研究を抽出して学習することにより，基礎力と専門性や方法論を身に付けることを目標とする。	
(2)授業の概要	地球システムを構成する，水文循環および雪氷，堆積物および地層，大気と陸面の相互作用に関わる研究の現状と課題を理解して，課題の解決において重要な研究について学習する．学習した内容を発表し，討論を重ねることで，課題解決のための方法論について学ぶ．各課題についてまとめることで論理的に思考する能力を習得する．						
(3)授業のキーワード	地球システム，水文循環，堆積作用，大気－陸相互作用，情報収集能力，分析能力，情報発信能力						
(4)授業計画	第1回：オリエンテーションー演習の進め方 第2回：課題の抽出ー陸域水文循環に関する（基礎） 第3回：課題の抽出ー中部山岳地域の雪氷（基礎） 第4回：課題の抽出ー地形変動と堆積物運搬、地層記録の解析（基礎） 第5回：課題の抽出ー大気-陸面相互作用（基礎） 第6回：文献の抽出ー陸域水文循環（基礎） 第7回：文献の抽出ー中部山岳地域（基礎） 第8回：文献の抽出ー地形変動と堆積物運搬（基礎） 第9回：文献の抽出ー地層記録の解析（基礎） 第10回：文献の抽出ー大気-陸面相互作用（基礎） 第11回：研究例の読解ー陸域水文循環（基礎） 第12回：研究例の読解ー中部山岳地域の雪氷（基礎） 第13回：研究例の読解ー地形変動と堆積物運搬（基礎） 第14回：研究例の読解ー地層記録の解析（基礎） 第15回：研究例の読解ー大気-陸面相互作用（基礎） 第16回：研究手法の理解ー陸域水文循環（基礎） 第17回：研究手法の理解ー中部山岳地域の雪氷（基礎） 第18回：研究手法の理解ー地形変動と堆積物運搬（基礎） 第19回：研究手法の理解ー地層記録の解析（基礎） 第20回：研究手法の理解ー大気-陸面相互作用（基礎） 第21回：課題解決法の提案ー陸域水文循環（基礎） 第22回：課題解決法の提案ー中部山岳地域の雪氷（基礎） 第23回：課題解決法の提案ー地形変動と堆積物運搬（基礎） 第24回：課題解決法の提案ー地層記録の解析（基礎） 第25回：課題解決法の提案ー大気-陸面相互作用（基礎） 第26回：検討事例の討論ー陸域水文循環（基礎） 第27回：検討事例の討論ー中部山岳地域の雪氷（基礎） 第28回：検討事例の討論ー地形変動と堆積物運搬（基礎） 第29回：検討事例の討論ー地層記録の解析（基礎） 第30回：検討事例の討論ー大気-陸面相互作用（基礎）						
(5)成績評価の方法	説得力のある発表，質疑応答ができるか，論理的思考能力，表現力の観点から総合的に評価する。 ※2年生の終わりに，1年次と2年次における「研究室のセミナー」としての成績をまとめてつける．						
(6)成績評価の基準	説得力のある発表，質疑応答ができるか，論理的思考能力，表現力の観点から総合的に評価する． 90%以上を秀，80-89%を優，70-79%を良，60-69%を可，60%未満を不可とする．						
(7)事前事後学習の内容	学んだことは忘れるな．そのための復習と応用を常に意識・実践せよ．						
(8)履修上の注意	2年目に履修登録してください． 研究室セミナーで，受講者が持ち回りで研究発表および討論を行う． セミナーでの質疑応答に積極的に参加すること． (注意) 研究室のセミナー：2年目に単位をつける．						
(9)質問,相談への対応	担当教員が随時応じる．						
【教科書】	必要に応じて資料配付，文献を紹介する．						

【参考書】	必要に応じて資料配付，文献を紹介する.
-------	---------------------